

科 目 名

都市環境計画 City Environment planning

3年 前期 2単位 選択

横 堀 肇

概 要

日本の都市、まち再生、各種事業の実態を通じて、都市や街のあり方に関する問題意識を喚起する。さらにアジアや欧米諸国の都市の実態とを比較しながら日本の都市を考える。その上で、再度、日本の「都市計画」における、街づくりの基本となる都市計画法、関連法制・事業への理解を深める。また、その歴史的背景など都市計画、街づくりに関する基礎を学ぶ。

学習目標

- ① 具体的なまちづくり事例や、自身の出身地の街を見る中から、現在の都市が抱える課題についての問題意識を喚起する。
- ② 日本の都市計画や関連事業に関する基本的な実像を学び、現制度の効果と功罪を考える。
- ③ アジアや欧米の事例について知り、グローバルな視野と比較の中から、日本の都市のあり方で考える機会を持つ。

授業計画

テーマ	内 容
① 都市計画の基礎(1)	「都市問題とはなにか」という問題意識を喚起する。
② 都市計画の基礎(2)	熊本市の事例を取り上げて、都市計画図の見方を知る。
③ 都市計画の基礎(3)	最近の街づくりでの住民・市民、大学の役割を知る。
④ 都市の骨格	都市の骨格としての道路などの都市施設を知る。
⑤ 再開発	任意の再開発から、関係者が多数の場合に実施される法に基づいた再開発手法まで、その相違を知る。
⑥ 区画整理	都市計画の母と呼ばれる「区画整理事業」について、その目的、仕組み、効用、課題を理解する。
⑦ ニュータウン開発	市街地開発事業の一つとしてのニュータウン開発手法を知る。70年代の住宅の大量供給の現代的課題を知る。
⑧ 中間レポート	各自、自分の街についての特徴、課題を披瀝する。
⑨ 日本とアジアとの比較	インドネシア、シンガポールの都市事情を知り、日本の街づくりや、都市のあり方を考える。
⑩ 日本と欧米との比較	英、蘭、米の都市を知り、日本の街づくり、都市を考える。
⑪ 田園都市	ニュータウンの起源といわれるハワードの田園都市に学ぶ。
⑫ 都市の構成要素	都市構成としてケビンリンチの都市のイメージを学ぶ。
⑬ 防災と街づくり	減災の為のハザード・マップ作成のまち歩き手法を学ぶ。
⑭ 都市計画の課題	国内外の都市事情を総括し、個別の疑問に答える。
⑮ 定期試験	講義の総まとめ

授業方法

配布プリント、パワーポイントに沿って授業を行い、必要に応じてレポートを課す。

学習到達度の評価

- ① 原則として、毎回質疑を行ない、理解度を把握する。併せて復習効果も期待している。
- ② 試験終了後に時間を設けて、定期試験の講評を行う。

評価方法

レポートを提出することにより試験の受験資格を得る。中間レポートおよび定期試験の平均点にて判定する。

教科書・教材

配布プリントやパワーポイント配布資料

参 考 書

横堀 肇 著「まちづくりがわかる本」彰国社出版
日端康夫 著「都市計画」共立出版

履修上の注意

この講義では都市のあり方に必要な基本的な情報を提供するが、問題意識を持った眼で、最低、大学周辺や出身地を歩き、まちを観察すること。その中から、まちづくりシミュレーションをおこなう習慣を身に着けること。

オフィスアワー

適宜、昼休み（12：00～1：00）に研究室にて講義内容に関する質問を受付ける。